

提出順	10	発言順	10	令和 5 年 2 月 17 日
				午前・ 午後 3 時 23 分受領

(3 枚中No. 2)

令和 5 年 2 月 17 日

(宛先) 安曇野市議会議員 平林 明

安曇野市議会議員 矢澤 毅彦

一般質問発言通告書

下記のとおり、通告します。

議会名	令和 5 年安曇野市議会 3 月定例会		
発言の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 一問一答	<input type="checkbox"/> 一括質問一括答弁	質問時間 分
答弁を求める者	<input type="checkbox"/> 市 長 <input type="checkbox"/> 副市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 他 ()		
	担当部長 <input type="checkbox"/> 総務部 <input type="checkbox"/> 政策部 <input checked="" type="checkbox"/> 市民生活部 <input type="checkbox"/> 福祉部 <input type="checkbox"/> 保健医療部 <input type="checkbox"/> 農林部 <input checked="" type="checkbox"/> 商工観光スポーツ部 <input type="checkbox"/> 都市建設部 <input type="checkbox"/> 危機管理監 <input type="checkbox"/> 上下水道部 <input checked="" type="checkbox"/> 教育部 <input type="checkbox"/> 他 ()		
質問事項	ヘルメット着用の努力義務化に安曇野市の対応は		

質問の要旨 (具体的に記載してください)

関係法令の改正により、自転車ヘルメットの着用の努力義務が令和5年4月1日より始まることについて、市の対応を伺う。

そもそも交通事故自体が起きないようにすることが大事であるが、自転車事故において、頭部へのケガが約6割、ヘルメット着用の有無で致死率が2.2倍になる、とも言われており、人命に直結する頭部を守るヘルメットは非常に重要であると言える。

安曇野市でもシェアサイクルを展開し、非常に好評を得ているという報道もある。

国の法律(道交法)ではあるものの、罰則規定のない努力義務である。が、自転車活用推進計画も立案し、自転車によるまちづくりを標榜している安曇野市が、端的に言えば、それを何ら守らない、無視するということはあってはならないと考える。今後の市民生活、観光、交通安全にもかかわる問題である。

●市内の児童生徒への啓発や補助等は。

●市民に対する啓発や補助等は。

●シェアサイクルを展開する自治体事業主として、シェアサイクル利用者へのヘルメット着用について、どう対応していくのか。

提出順	10	発言順	10	令和 5 年 2 月 17 日
				午前・ 午後 3 時 23 分受領

(3 枚中No. 3)

令和 5 年 2 月 17 日

(宛先) 安曇野市議会議長 平林 明

安曇野市議会議員 矢澤 毅彦

一般質問発言通告書

下記のとおり、通告します。

議会名	令和 5 年安曇野市議会 3 月定例会		
発言の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 一問一答	<input type="checkbox"/> 一括質問一括答弁	質問時間 分
答弁を求める者	<input type="checkbox"/> 市 長 <input type="checkbox"/> 副市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 他 ()		
	担当部長 <input checked="" type="checkbox"/> 総務部 <input type="checkbox"/> 政策部 <input checked="" type="checkbox"/> 市民生活部 <input type="checkbox"/> 福祉部 <input type="checkbox"/> 保健医療部 <input type="checkbox"/> 農林部 <input type="checkbox"/> 商工観光スポーツ部 <input type="checkbox"/> 都市建設部 <input type="checkbox"/> 危機管理監 <input type="checkbox"/> 上下水道部 <input type="checkbox"/> 教育部 <input type="checkbox"/> 他 ()		
質問事項	市庁舎の“安全性”の向上		
質問の要旨 (具体的に記載してください) 近年、襲撃型の凶悪犯罪が増えているように感じる。路上、商業施設、大学キャンパス内、列車内など。中には交番への襲撃事件もあった。 兵庫県宝塚市では、2013年に市役所の窓口カウンターへの来庁者による放火火災が起きた。全国の市役所、役場でも、刃物を所持した犯人が暴れるなどの職員が危険にさらされる事件が起きている。 多くの市民が集う、行き交う開かれた市役所であると同時に、多くの職員が働くひとつの職場でもあり、市民のみならず、職員にとっても安全な施設であることが求められる。 ●安曇野市役所本庁舎、各支所は「こどもを守る安心の家」の委嘱を受けているのか。緊急の避難先として機能できる体制にあるのか。 ●市役所内の警備員の増員、東西入口に警備員の配置など、視覚的に防犯レベルを上げることをしてはどうか。 ●警察と協力し「不審者対応訓練」を実施してはどうか。施設に配備されている防犯アイテムの使用訓練なども併せて行うことを要望する。			